

注3

大学番号：私145

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

杏林大学 外国語学部 中国語学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 杏林学園
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 八王子事務部教務課

職名・氏名 カシチョウ イシダ フミヒロ
課次長・石田 文博

電話番号 042-691-8726

（夜間） 042-691-8726

F A X 042-691-1094

e-mail ishida@ks.kyorin-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 杏 林 学 園

(2) 大学名

杏 林 大 学

(3) 大学の位置

〒192-8508

東京都八王子市宮下町476番地

(〒181-8611)

(東京都三鷹市新川6丁目20番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職 名 | 届 出 時 | 変 更 状 況 | 備 考 |
|---------|----------------------------------|---------|-----|
| 理 事 長 | (マツダ ヒロハル) 松田 博青 (昭和63年2月) | | |
| 学 長 | (アトミ ユタカ) 跡見 裕 (平成22年4月) | | |
| 学 部 長 | (アカイ タカオ) 赤井 孝雄 (平成20年4月) | | |
| 学 科 長 等 | | | |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

| 調査対象学部等の名称(学位) | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|---|--------|------|------------|------|----|
| | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| 外国語学部 中国語学科 学士(中国語コミュニケーション学) | 4年 | 30人 | 3年次 15人 | 150人 | |

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 平均入学定員 超過率 | 備考 |
|----------------|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 29人 30 (-) [3] | 1人 | () | () | () | () | () | () | 1.16倍 | |
| 志願者数 | 117 (-) [-] | - | () | () | () | () | () | () | | |
| 受験者数 | 111 (-) [-] | - | () | () | () | () | () | () | | |
| 合格者数 | 90 (-) [-] | - | () | () | () | () | () | () | | |
| B 入学者数 | 35 (-) [-] | - | () | () | () | () | () | () | | |
| 入学定員超過率 B/A | 1.16 | | | | | | | | | |

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学年 | 対象年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 備考 |
|-----|-------------|--------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | [0] 35 | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [] | |
| 2年次 | / | | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [] | |
| 3年次 | | | / | | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [] |
| 4年次 | / | | | | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [] |
| 計 | | | [0] 35 | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [] |

(注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 退学者数 (a) | 在学者数 (b) | 入学者に対する 退学者数の割合 (a/b) |
|--------------------------------------|---------------|------------|-----------------------------|
| 平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日) | 計 [] | (累積)計 [] | % |
| | うち平成23年度入学者 人 | うち平成23年度 人 | |
| (主な退学理由) | | | |
| 平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日) | 計 [] | (累積)計 [] | % |
| | うち平成23年度入学者 人 | うち平成23年度 人 | |
| | うち平成24年度入学者 人 | うち平成24年度 人 | |
| (主な退学理由) | | | |
| 平成25年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日) | 計 [] | (累積)計 [] | % |
| | うち平成23年度入学者 人 | うち平成23年度 人 | |
| | うち平成24年度入学者 人 | うち平成24年度 人 | |
| | うち平成25年度入学者 人 | うち平成25年度 人 | |
| (主な退学理由) | | | |

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備考 | | |
|---------------------|--------------|---|---|---|---|---|--------------------------------|-------------------------------|
| (1) 校地等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の学校等の専用 | 計 | | | |
| | 校舎敷地 | 136,727.16㎡ | — ㎡ | — ㎡ | 136,727.16㎡ | | | |
| | 運動場用地 | 14,570.00㎡ | — ㎡ | — ㎡ | 14,570.00㎡ | | | |
| | 小 計 | 151,297.16㎡ | — ㎡ | — ㎡ | 151,297.16㎡ | | | |
| | そ の 他 | 34,950.65㎡ | — ㎡ | — ㎡ | 34,950.65㎡ | | | |
| | 合 計 | 186,247.81㎡ | — ㎡ | — ㎡ | 186,247.81㎡ | | | |
| (2) 校舎 | 専 用 | 74,221.81㎡ | — ㎡ | — ㎡ | 74,221.81㎡ | | | |
| | (74,221.81㎡) | (— ㎡) | (— ㎡) | (— ㎡) | (74,221.81㎡) | | | |
| (3) 教室等 | 講義室 | 92室 | 105 121室 | 37室 | 9室 (補助職員 0人) | 4室 (補助職員 0人) | | |
| | 演習室 | | | | | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | 中国語学科 | | | | 10 室 | | |
| | 室 数 | | | | | | | |
| (5) 図書・設備 | 新設学部等の名称 | 図 書 〔うち外国書〕 冊 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 種 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 | 視聴覚資料 点 | 機械・器具 点 | 標 本 点 | |
| | 中国語学科 | 161,315 [54,541] 158,011 [53,862] (161,315 [54,541]) -(158,011 [53,862]) | 1,320 [584] 1,535 [668] (1,320 [584]) -(1,535 [668]) | 88 [27] 206 [44] (88 [27]) -(206 [44]) | 8,721 8,663 (8,721) -(8,663) | 467 3,359 (467) -(3,359) | 0 0 (0) (0) | |
| | 計 | 161,315 [54,541] 158,011 [53,862] (161,315 [54,541]) -(158,011 [53,862]) | 1,320 [584] 1,535 [668] (1,320 [584]) -(1,535 [668]) | 88 [27] 206 [44] (88 [27]) -(206 [44]) | 8,721 8,663 (8,721) -(8,663) | 467 3,359 (467) -(3,359) | 0 0 (0) (0) | |
| | | | | | | | | |
| (6) 図書館 | 面 積 | 5,342.13㎡ | | 閲覧座席数 | 681 | | 収納可能冊数 | 515,285 439,225 |
| | | | | | | | | |
| (7) 体育館 | 面 積 | 12,894.53㎡ | | | | | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | 大学全体 |
| | | | | | | | 野球場一面 テニスコート8面 弓道場1 アーチェリー練習場1 | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 |
| | | 教員1人当り研究費等 | | 708千円 | 図書購入費 | 9,467千円 | 9,508千円 | 9,902千円 |
| | 共同研究費等 | | 0千円 | 設備購入費 | 10,127千円 | 10,254千円 | 10,654千円 | |
| | 学生1人当り納付金 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | |
| | | 1,173千円 | 920千円 | 920千円 | 920千円 | — 千円 | — 千円 | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | 私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。 | | | | | | |

(注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 杏林大学 | | | | | | | | 備考 |
|---------------|----------|------------------|----------------|------------------|-------------------------------|-----------|------------------|----------------------|-------------------|
| 既設学部等の名称 | 修業 年限 | 入 学 定 員 | 編入学 定員 | 収 容 定 員 | 学位又 は称号 | 定員 超過率 | 開 設 年 度 | 所 在 地 | |
| | 年 | 人 | 年次 人 | 人 | | 倍 | | | |
| 医学部 | | | | | | | | | |
| 医学科 | 6 | 117 | — | 603 | 学士 (医学) | 1.00 | S45年度 | 東京都三鷹市新川 六丁目20番2号 | |
| 保健学部 | | | | | | | | | |
| 臨床検査技術学科 | 4 | 80 | 2年次 6 3年次 4 | 346 | 学士 (保健衛 生学) | 1.21 | S54年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | |
| 健康福祉学科 | 4 | 40 | 2年次 6 3年次 4 | 186 | 学士 (保健衛 生学) | 1.28 | S54年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | |
| 看護学科 | 4 | 100 | 2年次 2 3年次 8 | 402 | 学士 (看護 学) | 1.11 | H 6年度 | 東京都三鷹市新川 六丁目20番2号 | |
| 臨床工学科 | 4 | 40 | — | 160 | 学士 (臨床工 学) | 1.38 | H18年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | |
| 救急救命学科 | 4 | 40 | 3年次 5 | 170 | 学士 (救急救 命学) | 1.24 | H19年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | |
| 理学療法学科 | 4 | 40 | — | 120 | 学士 (理学療 法学) | 1.19 | H21年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | |
| 作業療法学科 | 4 | 40 | — | 40 | 学士 (作業療 法学) | 1.15 | H23年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | |
| 総合政策学部 | | | | | | | | | |
| 総合政策学科 | 4 | 170 | 3年次10 | 710 | 学士 (総合政 策学) | 1.15 | S59年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | |
| 企業経営学科 | 4 | 100 | 3年次 5 | 430 | 学士 (企業経 営学) | 1.17 | H18年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | |
| 外国語学部 | | | | | | | | | |
| 英語学科 | 4 | 120 | 3年次 5 | 465 | 学士 (文学) | 1.16 | H18年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | |
| 中国語・日本語学科 | 4 | — | 3年次13 | — | 学士 (文学) | 0.82 | H18年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | 平成23年より 学生募集停止 |
| 中国語学科 | 4 | 30 | 3年次15 | 30 | 学士 (中国語 コミュニ ケーション学) | 1.20 | H23年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | |
| 応用コミュニケーション学科 | 4 | — | 3年次 2 | — | 学士 (文学) | 1.10 | H18年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | 平成23年より 学生募集停止 |
| 観光交流文化学科 | 4 | 70 | 3年次 3 | 140 | 学士 (観光交 流文化 学) | 1.26 | H22年度 | 東京都八王子市 宮下町476番地 | |

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- （専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

| 区 分 | 留 意 事 項 | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|------------------------------|---------|---------|--------------------|
| 設置計画履行状況 調 査 時 (23年5月) | 該当なし | | |

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<外国語学部 中国語学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 届出時の計画 | 変更内容・状況, 今後の見通しなど |
|---|--|
| ① 施設・設備 A 演習室105室 B 図書161,315 [54,541] 冊 C 学術雑誌1,320 [584] 種 D 電子ジャーナル88 [27] E 視聴覚資料8,721点 F 機械・器具467点 | 教室等の変更について 病棟建設に伴い、演習室の一部を専任教員研究室とした。 図書、学術雑誌および電子ジャーナルの変更について 学生の修学環境を改善するため、利用頻度の低い資料、版の古い資料、古い雑誌資料などを除籍し、収書や配架方法に多様性が生まれた。 機械・器具および標本の変更について 届出時に備品の総数を記載したため、教具のみに訂正した。 |

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

| |
|---|
| ① 実施体制 a 委員会の設置状況 常置委員会の中に運営委員会を設置し、その中でFD委員会を設置している。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 運営委員会は、毎月1回開催し、学部長、教務部長、学生部長、その他の委員（教員）9名で構成している。 c 委員会の審議事項等 制度に関する事項、学部運営に関する事項、予算に関する事項、将来構想に関する事項、FDに関する事項、について審議している。 ② 実施状況 a 実施内容 ①授業方法等についての研究会（内部・外部講師による講演会等） ②授業評価アンケート ③研究成果の公開 b 実施方法 ①内部・外部の講師を招き、授業方法改善の取り組みについての講演会を実施した。 ②学生による授業評価アンケートを毎学期実施している。結果は教員へフィードバックし、ホームページにも掲載している。 ③当年度における学部専任教員の研究成果をまとめ、所定の審査を経て内部・外部へ公開している。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ①講演は、年に数回程度実施しており、多数の教員が参加している。 ②授業評価アンケートは、原則として全授業で実施している。 |
|---|

③年1回、多数の教員が研究成果をまとめ、所定の審査を経たものを内部・外部に公開している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各教員へフィードバックする授業評価アンケート結果や、講演会、授業見学、討論会などで得た知見をもとに、各教員が自ら授業改善策を検討し、実際の授業で実践している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

中国語学科は、次のような趣旨・目的を設定している。

現在の国際情勢のもとで、経済社会はより一層高度でかつ広範な中国語運用能力と問題解決能力を具備した人材を早急に必要としている。この要請に応えるために、既存の「中国語・日本語学科」を母体として新たに独立した学科「中国語学科」として設置した本学科では、社会のニーズに対応できる実践的な中国語運用能力を開発し、高度な知見と技能の修得により、日中間の交流を担う、中国語の高度なコミュニケーション能力を身につけた人材の養成を目的としている。

新学科発足によって、明確な目的意識をもった新生入生を受け入れることができた。ガイダンス初日から、学生の意欲が強く感じられ、「既習者クラス」と「ゼロスタートクラス」とともに、設計時の予想以上に良好なスタートを切っている。上級生との交流や、留学説明会などへの積極的な参加がみられる。

初年次教育のクラス担任や、必修として毎日行われる中国語の授業担当教員たちが常に連携をとりながら指導にあたり、5月連休に入る前の大事な時期の学習が効果的に始動できているといえよう。

学科の全専任教員と関連の兼任教員が一丸となって、明確な目標と豊富な実績に基づいた学生指導を進める効果は絶大なものとなることが期待される。

新学科の前身である「中国語・日本語学科」の「中国語ビジネスコミュニケーションコース」との連続性も大切にしている。当該コースの2年生以上の在校生に対しても、選択科目の演習授業の内容に、新学科の構想で明確にされた高度な通訳翻訳関連の演習の内容を取り入れた講義を行い、留学を終了して帰国した3年生や4年生が積極的に履修している。

こうした講義のあることを知って、3年次に編入学してきた学生もおり、また、海外の協定校からの交換留学生なども、これらの科目を履修したいとして、大震災のあとに他大学では留学生激減と報じられる中で、本学科においては、多少の減少に留まっていることから、内外の要請の強さを実感している。

開設初年度ではあるが、上記のことからも、新学科での構想が間違いないものであると強く感じている。引き続きしっかりとした取り組みを続けていくことで、優れた結果をだせるよう努力を続けたい。

今後一層、広報活動につとめ、志向性の高い志願者の発掘に注力することが肝要である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・年1回公表している。

b 公表方法

・杏林大学の現況(自己点検・自己評価のためのデータブック)を年1回刊行し、監督官庁をはじめ他大学等に配布している。また、大学ホームページ上でも公開している。

③ 認証評価を受ける計画

・平成20年度に財団法人大学基準協会の認証評価を受けたところであり、次回7年以内に評価を受けるべく、今後検討を行っていく。

(注)・届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成23年7月予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www. 未定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AG報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。